



帯小の窓

帯広市立帯広小学校
Obihiro Obihiro
Elementary School
令和元年10月11日
NO17



心 あったか 行動 きびきび けじめ しっかり

「教育の成果を子どもの姿で示し 家庭・地域との信頼ときずなをさらに深める」

対応力の基礎
を身に付けさせる
教育活動の充実と改善

改めて『対応力の基礎』

社会で生き抜くための基礎基本とは？

たとえば・・・

本校 **プラスワン運動**の

3つの「あ」

あいさつ

相手を意識したコミュニケーションの入口

歩き方

共同生活の最低限の約束

後始末

これらも「対応力の基礎」です！

上にもあるように今年度は「対応力の基礎を身に付けさせる教育活動の充実と改善」を全体のキャッチフレーズにしています。

来年度から完全実施される新しい小学校学習指導要領(教育水準維持のための教育内容や計画の国の基準)では、知識・技能の活用が強く意識され、人との関わりや生涯にわたって学ぶ意欲、人間性が強調されています。(下参考)

引き続き変化の激しい社会の中で、よりよく人と関わりながらたくましく生きていくための基礎基本を地域社会・保護者のみなさんとともに「はぐくんでいくことがより一層大切にされてきています。」



全校集会で(人間間違い探し)学習した知識と知恵を出し合い、全校の集団ゲームでよりよい関わりを創り出す。9月26日(木)



コミュニケーションスキルを学ぶ
新聞パズルに取り組むこまれば学級の子
どもたち 校内研 9月30日(月)

これから求められる資質・能力

生きて働く 知識・技能

学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性

未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力

個人懇談週間「相互コンサルテーション」

ありがとうございました！

今年度から1・4学年以外の実施していません。参観日の折の懇談等以外では、個人懇談週間が、担任と個別に話す初めての機会となった方もいらっしゃったことと思います。お忙しい中、ご都合をつけ来校いただきありがとうございます。

さて、上にある「相互コンサルテーション」とは、専門家がお互いに助言し合うことです。個人懇談をあてはめると、お互いにですから、教師と保護者となります。お子さんの専門家は保護者のみなさん、学校教育の専門家は教師となります。お子さんの成長を話題にしながら、その時々でお互いにそれぞれの専門家として尊重し話し合い、子どもたちにとって良い方向を模索していくことを大事にしていくという考え方です。教育は「共育」ともいわれます。学校・家庭・地域社会がともに知恵を出し合い協働することで大きな成果を得られます。



心を育てる「共育」いつもありがとうございます！
「さくらんぼクラブ」のみなさん。帯小まつりのブックシアターも大盛況でした！



校内スタッフ



教材園の収穫 のぞみ学級
お父さん方と整備したのがついこの前の
ようです。たくさんの実りに感謝です。



6年生バイキング給食
目移りするようなメニューおいしそうな
ものばかりでしたが、そこは「食育」栄
養のバランスも考えて 1日(火)



校内授業研(こもれび学級)
先生方がスキルアップのために研修しま
す。全員が授業を校内に公開しています。
上は新聞パズルに取り組む子どもたち
9月30日(月)



いただいています! 5年生宿泊学習
夕食時におじゃましました。みんな楽し
そうでした。 1日(火)

体験とかかわりで心に刻む学び ~3・4年生が園児とともに~

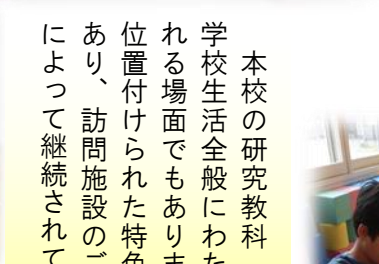
かけはし交流

3年生: 10月2日(水) 藤花保育所
4年生: 10月3日(木) きたのくに子ども園

4年生



相手を楽しませること・相手の目線で関わるこ
とについては、わかっていることと、実際にでき
ることは全く別物です。やってみなければわか
らないことは大人でもたくさんあります。



3年生



本校の研究教科「道徳科」を始め、
学校生活全般にわたった総合力が試さ
れる場面でもあります。教育計画にも
位置付けられた特色のある教育活動で
あり、訪問施設のご協力と職員の努力
によって継続されています。